

総合工学委員会原子力安全に関する分科会
福島第一原発事故調査に関する小委員会
第24期・第15回議事録

令和1年12月13日
作成 澤田 隆

1. 日時 令和1年11月14日(木) 13:30～15:45
2. 場所 日本学術会議 5-C(1) 会議室
3. 出席者 松岡委員長、柘植、成合、宮野、矢川、山本、吉田、澤田幹事 (越塚、白鳥、関村、中村、欠席)
説明者 原子力規制庁原子力規制技監 櫻田道夫氏
4. 配付資料
資料1 第12回議事録
資料2 第13回議事録
資料3 第14回議事録案
資料4 「原子力規制の課題とあるべき姿」(素案)
資料5-1 原子力規制委員会の取り組みと今後の課題(櫻田氏資料)
資料5-2 次期中期目標案について(第3回)
5. 議事
 - 1) 前回議事録の確認(資料3)
 - ◎ 次回開催日の誤記を訂正の上承認された。
 - 2) 原子力規制委員会の取り組みと今後の課題(資料5-1, 5-2)
 - ◎ 原子力規制庁原子力規制技監櫻田道夫氏から資料5-1, 5-2の説明があった。
 - ◎ 質疑応答・議論
下記の質問・意見があった。
Q: IoT, AIで規制も変わるのでは?
Q: データの一括管理は考えているか?
C: 職員の人材育成が大事。産業界のトップから見た意見を聴かせて貰うべき。博士号取得者の採用も重要。
Q: 新検査制度は米国に人を派遣して育てたのか?
Q: 規制の要求すべき姿とは?
C: 人材育成に関し、米国は潜水艦で経験した人材が産業界・規制に入ってくる。日本では現場経験をどうするかが課題である。
Q: 最新知見について学会内でも意見が分かれるような場合、どうするか?
Q: 規制委員会の活動原則とNRCのそれとを比較すると、規制委員会は「効率的審査」という項目が欠如しているが、なぜか?

Q： 「政策評価懇談会」とはどんな組織か？メンバーは誰が選ぶのか？

C： 規制庁が選定した委員では、規制庁のことを忖度して本当の意味の外部評価にならないのでは？ 規制庁の外の人に委員を選定して貰うようにするべきではないか？

Q： 規制庁のHPで色々検索しても、安全研究でどういうことをやって、どういう成果を得たか分かる資料（例えば委託事業の成果報告書）が出てこない。どうすれば、そういうものを見ることが出来るか？

Q： risk informed 規制で抜けている点は無いか？

Q： 規制見直しのタイムスケールは？

Q： 規制にかかったコストと成果を評価しているか？

Q： 規制委の委員に正しく情報が上がる仕組みになっているか？

5) 次回 2019 年 11 月 27 日（水） 10：00～12：00

以上